

きものでトレン



＼平成・令和の兼高かおる!?／

和装家・吉田直子の

きもので世界の旅



兼高かおるさんが初めて海外取材に出発した時は
きもの姿で!

テレビ番組「兼高かおる世界の旅」(1959-1990)では取材国は約150か国にのぼった。(写真は公式Instagramより)



きもので世界遺産ほか



兼高かおるさんが初めて海外取材に出発した時は
きもの姿で!

テレビ番組「兼高かおる世界の旅」
(1959-1990)では
取材国は約150か国にのぼった。
(写真は公式Instagramより)



今日の和装家は吉田貞子さん き手／四季誌和装家編集 佐藤正樹

和装家に
聞く

今日の和装家は吉田貞子さん
(聞き手／四季誌和装家編集 佐藤正樹)

同上

アクティブ＆ポジティブな方が多い和装家の方々の中でも、とびきりなのは、今回取材させていただいた吉田貞子さん。左のページにて世界中で披露されたきもの姿を紹介していますが、それはまさに平成・令和の兼高がある(えつ誰？という方は検索してみてくださいね)で、さうにすごいのは、そのシーンのほとんじが「きもの姿」といふことなんですね。

吉田さん「好奇心でしようね。行ってみたい、見てみたい、体験したいという気持ちが原動力だと思います」

それでも、お写真を見せていただくと、すべてのご旅行で「きもの必須」にされていくようですが、大変ではないでしょうか？

吉田さん「みんなさんも感じてみてください」とお聞きするが、

玉那霸有公先生の
ぐり

で吉田さんの
行写真を紹介しました。
もごく一部です)

さんのクルーズ、うらやましい
限りです。

吉田さん「移動している時、
滞在している時間そのもの
が、旅行として楽しい時間に
なるというクルーズはとても
好きです。楽ですね。それ
ときもの姿だとモテるんで
す。普通に洋装だと、ただの
きもの姿という彩りが、動機
づけになつてゐるのではと思
いました。吉田さん、この分
析、間違つていませんか？」

さあ、みなさんもきものを
持つて（着て）、世界に旅立ち
ましょう！

で吉田さんの
旅行写真を紹介しました。
もごく一部です)

A full-body photograph of a woman in a traditional Japanese kimono standing on a set of wide stone steps. She is wearing a light blue-grey kimono with a dark blue patterned obi belt featuring a repeating motif. Her kimono has a subtle texture or pattern on the lower half. She is wearing white tabi socks and white geta (wooden sandals). She is holding a white umbrella with a gold-colored floral pattern and a matching gold-colored handle. She is smiling and looking directly at the camera. The background is a bright, sunny day with green trees and a red building visible in the distance. Other people are walking in the background, and there are flower beds with red and pink flowers along the stone wall.

日本和装ホールディングス株式会社の
2022年きものブリリアンツ
「石川部門」グランプリ受賞

東洋人ですが、和装すると、日本人女性としてのアイデンティティを見事に表現できます。モテモテで快感！」

A photograph of a woman in a traditional Japanese kimono, standing in front of a blue background with white text. She is wearing a white top and a blue and white patterned skirt. The background has some faint text that appears to be 'An' and 'n'.